

# 四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第 25 号 (平成 25 年 5 月発行)

さる 3 月 18 日 (月) に平成 25 年第 1 回定例会が開会され、同月 26 日 (火) に一般質問が行われ、議案 9 件が可決され閉会しました。

今回は、中村久雄議員 (四日市市議会選出)、津田健児議員 (三重県議会選出) の二人が四日市港港湾行政に関する質問を行い、管理組合執行部に答弁を求めました。

## 主な質問・答弁要旨

中村久雄 議員



○ **霞 4 号幹線の整備によって北方面のアクセスがよくなる一方で、南方面の渋滞は解消されないのではないか。南方面のアクセスを向上させるために、霞 4 号幹線を南に延伸する構想の実現に向けて、国等に強く働きかけていくべきではないか。管理組合の見解を伺いたい。**

◎ 現在、臨港道路霞 4 号幹線は、国直轄事業として平成 20 年代後半の供用開始に向けて整備促進が図られており、管理組合としても、国との連携を密にしながら、関係機関との調整を行うなど、事業の促進に努め、まずは霞ヶ浦地区から伊勢湾岸自動車道みえ川越インターチェンジまでの早期供用に向けて取り組んでまいります。霞 4 号幹線を南へ延伸する構想につきましては、産業活動をより一層活性化していくとともに市民生活の利便性の向上を図るためにも、将来的なまちづくりの観点からも、十分に検討に値するものと考えており、全体的な臨港交通体系の整備を進める中で、引き続き国へ働きかけてまいります。

津田健児 議員



○ **グリーン物流促進補助事業について、この事業は毎年度事業継続か否かを決めていく事業であるが、今後のあり方についてどのようにお考えか。来年度から実施予定のラウンドユース事業に対する補助を含めての対応をお聞かせいただきたい。**

◎ グリーン物流促進補助事業のあり方は絶えず検証し、毎年見直しを加えてきましたが、6 年目を迎える平成 25 年度からコンテナラウンドユース事業を追加することとしています。ラウンドユースに際しては輸入企業が利用を終わったコンテナの品質の確認や陸上輸送業者間でのスムーズな運用の調整が必要となるなど課題もありますが、荷主企業のコスト削減やCO<sub>2</sub>の排出削減に資するものであり、荷主企業からの要望もあることから制度化を図っているものです。今後も荷主企業からの要望も聞きつつ、使いやすい制度にしていきたいと考えております。

※詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。